

第1号議案

令和6年度 事業報告承認の件

I 評議員会・理事会・評議員選定委員会開催状況

1 評議員会開催状況

開催年月日	場 所	議 決 事 項
令和6年 6月27日	ひょうご女性 交流館501号室	1 令和5年度決算報告承認の件
令和7年 3月27日	ひょうご女性 交流館501号室	1 補欠役員の選任の件 2 評議員候補者の推薦の件

2 理事会開催状況

開催年月日	場 所	議 決 事 項
令和6年 4月1日	— (書面表決)	1 理事長の選定の件 2 理事長及び業務執行理事の報酬額決定の件
令和6年 6月12日	いなみ野学園 会議室	1 令和5年度事業報告承認の件 2 令和5年度決算報告承認の件 3 評議員会招集の件
令和7年 3月11日	いなみ野学園 会議室	1 令和7年度事業計画承認の件 2 令和7年度収支予算承認の件 3 令和6年度収支補正予算承認の件 4 会長推薦の件 5 評議員会召集の件

3 評議員選定委員会開催状況

開催年月日	場 所	議 決 事 項
令和6年 4月19日	— (書面表決)	1 補欠評議員の選任の件 2 議事録署名人の選任の件

Ⅱ 事業実施報告

「いなみ野学園」「阪神シニアカレッジ」「ひょうごラジオカレッジ」の運営を引き続き図っていくとともに、生涯学習講座の実施、公民館等社会教育施設職員等を対象とした人材育成、シニアニュースポーツの普及、生涯学習情報の発信など、あらゆる世代の生涯学習を支援する取組を充実し、県民の生涯にわたる学びを応援する先導拠点としての役割を果たしていきます。

1 生涯学習の推進

あらゆる世代の生涯学習を支援するため、くらしに役立つ趣味や知識等の分野に関する講座や生活に必要な基礎知識を習得するための講座など、受講者ニーズを踏まえた短期集中講座を実施しました。

また、ひょうごインターキャンパスや生涯学習リーダーバンクの運営等を通じて、生涯学習に関するさまざまな情報提供等を行いました。

2 高齢者等の学びの支援

高齢者の学びを支援するため、地域の企業・団体、国・県と連携しながら、時代のニーズを捉えた新しい内容の講座を増やすなど、学習ニーズを踏まえた魅力あるカリキュラムの充実を図るとともに、講座内容の一層の向上に努めました。

さらにオンライン年間聴講生を募集し、1年次の共通講座の録画配信を行いました。

3 経営改善の推進

社会環境が変化する中、持続可能な協会運営を図るため、協会のさらなる経営改善を進めていきます。

今後とも、学生増につながる学園の魅力向上に努めるとともに、「兵庫県生きがい創造協会経営改善推進本部」のもと、引き続き経費削減対策及び収入確保対策を講じながら、「令和7年度収支差額ゼロ」を目指した経営改善に取り組みます。

令和6年度事業体系表

生涯学習の推進、多様な連携・交流

1 生涯学習の総合的推進

(1)生涯学習に係る情報提供・調査研究の実施

- ひょうごインターキャンパス（兵庫県生涯学習の広場）の運営（協会本部）
- 生涯学習リーダーバンクの運営（協会本部）
- 生涯学習推進アドバイザー派遣事業の実施（協会本部）
- 生涯学習情報提供・相談の実施（協会本部）
- 生涯学習にかかる調査研究（協会本部）

(2)あらゆる世代の生涯学習を支援する公開講座等の実施

- 生涯学習公開講座（協会本部、いなみ野、阪神）
- 多世代交流事業の実施（協会本部、いなみ野）
- 短期集中講座の実施（協会本部、いなみ野）
- 聴講生制度（いなみ野、阪神）
- ラジオ講座番組（ひょうごラジオカレッジ）の提供（放送大）

(3)生涯学習関係機関職員研修の実施

- 社会教育関係職員等研修（協会本部）

2 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流

- 大学等学校教育機関との連携（協会本部、いなみ野、阪神）
- 公民館等市町関係機関との連携（協会本部）
- 博物館等社会教育機関との連携（協会本部、いなみ野、阪神）
- 高齢者大学等関係組織との連携（協会本部、いなみ野、阪神）
- 広域ネットワーク組織との連携
- NP0、社会福祉協議会等地域活動団体との連携（いなみ野、阪神）
- 学園の魅力を活かした地域住民との交流（いなみ野）

地域社会を支える学びの支援

3 地域社会を支える高齢者等の学びの支援

(1)高齢者大学事業の充実

- いなみ野学園 4年制大学講座、陶芸学科専修コース、大学院講座、研究生制度、学園運営等各種サポーター
- 阪神シニアカレッジ 4年制大学講座、阪神ひと・まち創造講座

(2)ひょうごラジオカレッジ事業の実施

- ひょうごラジオカレッジ〔高齢者放送大学〕
- ラジオカレッジサポーター

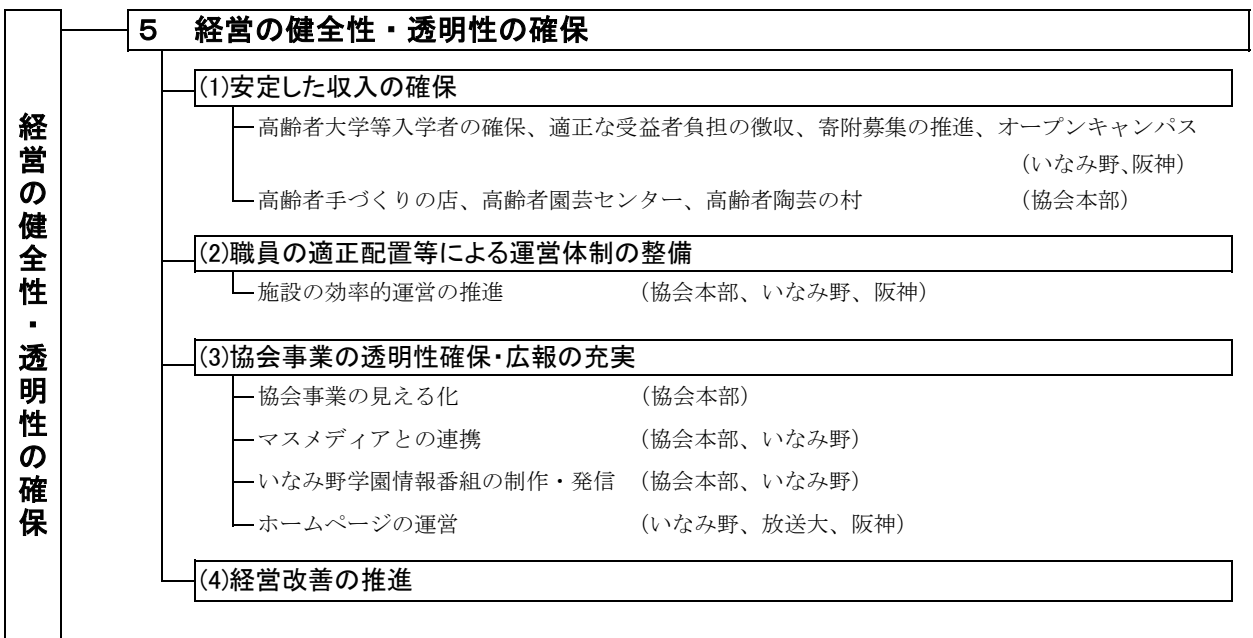
(3)地域づくり活動の推進と支援

- いなみ野学園地域活動支援センター
- 阪神シニアカレッジ地域活動支援センター

(4)高齢者の交流・健康づくり活動の広域的展開・場の提供

- シニアニューススポーツ、全国健康福祉祭〔ねんりんピック〕（協会本部）

4 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流(再掲)



※ 実施機関 (協会本部) 兵庫県生きがい創造協会 総務部・生涯学習部 (いなみ野) いなみ野学園
 (放送大) 高齢者放送大学 (阪神) 阪神シニアカレッジ

Ⅲ 事業実施状況

※中項目または事業名の後の（ ）は実施機関

1 生涯学習の総合的推進

(1) 生涯学習に係る情報提供・調査研究の実施

① ひょうごインターキャンパス（兵庫県生涯学習の広場）の運営（協会本部）

教育機関・民間企業・行政等様々な生涯学習機関と連携し、多彩で幅広い生涯学習情報を提供するウェブサイト「ひょうごインターキャンパス」を運営しました。

参画機関数	472	
アクセス数	153 千件	月平均 13 千件

② 生涯学習リーダーバンクの運営（協会本部）

生涯学習で得た知識・技能を生かし、ボランティア指導者として学習グループ等の活動支援をしようとするいなみ野学園研究生などの新たな登録を促進するとともに、その利用促進を図り、学びの社会還元を推進しました。

バンク登録人数：176 名

③ 生涯学習推進アドバイザー派遣事業の実施（協会本部）

市町や生涯学習関係機関が抱える課題の解決を支援する生涯学習推進アドバイザー派遣事業を実施しました。

派遣件数：18 件

④ 生涯学習情報提供・相談の実施（協会本部）

講座、資格、施設、イベント等に関する各種の生涯学習情報を提供するとともに、生涯学習に関する相談に応えました。

相談件数：67 件

⑤ 生涯学習にかかる調査研究（協会本部）

公民館の利用実態と地域住民の公民館に対する考え方や期待などの実情を把握し、公民館の在り方や課題を分析することにより、県内公民館の今後の事業展開に資することを目的に兵庫県公民館連合会と連携しアンケート調査を実施しました。

調査対象：県内公民館利用者（回答数：1,505/2,000）

(2) あらゆる世代の生涯学習を支援する公開講座の実施

① 生涯学習公開講座

現役世代を含むあらゆる世代の生涯学習に対する意識の高揚を図るため、生涯学習公開講座を開催しました。

開催場所 (高齢者大学名)	講座内容・講師等	開催日・参加者数
いなみ野学園 (協会本部)	「災害列島・日本～来るべきXデーに備えて～」 講師：小説家 高嶋 哲夫	開催日：令和6年12月1日 参加者数：311名
阪神健康交流センター (阪神シニアカレッジ)	「学長文学歴史サロン」 講師：阪神シニアカレッジ学長 田辺真人 ① 「清和源氏の成長期ー「光る君へ」と阪神地域」 ② 「鶴越の坂落としはどこかー「一ノ谷」地名の広狭二義説」 出演：筑前琵琶奏者 川村旭芳 ③ 「元禄文化と阪神地域」 出演：講談師 旭堂一海 ④ 「年の瀬と忠臣蔵」 出演：講談師 旭堂一海 ⑤ 「春のクラシック音楽から」 出演：デュオてまり（正司円、服部彩恵）、仲内咲樹	開催日：（全5回） ① 令和6年8月7日 ② 令和6年8月25日 ③ 令和6年9月1日 ④ 令和6年12月8日 ⑤ 令和7年3月11日 参加者数：682名

② 多世代交流事業の実施（いなみ野）

いなみ野学園の休園日の学舎を活用し、学園生と地域の多世代住民がともに学び、交流するイベントを実施しました。

○親子陶芸教室

開催日：令和6年7月15日（月）

参加者：加古川市内の小学生と保護者 37組74名

○多可町児童との交流事業（絵画教室）

開催日：令和6年8月7日（水）

参加者：小学生29名、いなみ野学園生18名

③ 短期集中講座の実施（協会本部、いなみ野）

ア 協会本部

通年ではなく、短期間の学習講座の開設に対するニーズも踏まえ、平日の午後やいなみ野学園の休園日などの学舎を活用し、家庭生活で役立つ趣味・知識等の分野について、広く県民を対象とした有料制の短期集中講座を実施しました。

講座名	講師	参加者数 (人)
①もっと知りたい！世界の姿 4回講座 6,000円／人（7月）	神戸学院大学教授 岡部芳彦 京都産業大学世界問題研究所長 岩本誠吾 神戸大学大学院教授 養原俊洋 園田学園大学名誉教授 田辺真人	52

②藤原正美の話し方講座 3回講座 4,500円/人(9月)	ラジオ関西パーソナリティー 藤原正美	19
③剪定講習※ 2日間講座 受講料無料(11月)	(株)石樹園会長 松本 堅	13
④ハウスクリーニング講習会※ 2日間講座 受講料無料(11月)	(一社)日本清掃収納協会 後藤恵子	13
⑤ニュースで探る未来の自然科学と 数学脳活講座 4回講座 6,000円/人(12月)	兵庫大学エクステンション・カレッジ講師 菅生安展	24
⑥はじめての園芸 入門ミニ講座 3回講座 4,500円/人(12月)	いなみ野学園 園芸学科 外部講師並びに 職員 計3人	21
⑦ひょうご文学散歩 4回講座 6,000円/人(1月)	兵庫教育大学大学院 元教授 廣岡 徹	21
⑧YouTube 動画配信セミナー 3回講座 4,500円/人(2月)	(株)マウントエッジ代表 山端秀明 元県職員 四海達也	17
計		180

※③④は兵庫県シルバー人材センター協会との共催事業として実施

イ いなみ野学園（夏のわくわく講座）

講座名	講師	参加者数 (人)
親子・多世代で楽しむペア・ヨガ教室 (7月26日)	Rela-yoga ヨガ教室主宰 井上 愛	2
解説付きで味わうヴァイオリンの名 曲(7月29日)	ヴァイオリン 嶽崎 あき子 ピアノ 高橋千恵	44
アンチエイジングボイストレーニン グ(7月30日)	元劇団四季 声楽家 江本 あきこ	33
孫と楽しむ陶芸教室 (7月30日・8月12日)	いなみ野学園陶芸学科技術指導員	60 (30組)
計		139

④ 聴講生制度（いなみ野、阪神）

ア いなみ野学園

いなみ野学園高齢者大学の講座の一部を公開し、地域づくりについて学ぶきっかけづくりや実践活動の充実につなげました。

さらに「人生100年時代」に対して退職後の生き方を考える世代（退職準備世代）に学びの場を提供し、就業・介護等の事情から高齢者大学への入学が困難な層にも学習の機会を提供しました。

令和3年度から、現役学生について、従来聴講できなかった他学年の共通講座及び同一学科の専門講座の聴講を可能としました。

聴講生制度の 対象者	学習意欲のある方（年齢制限、居住制限なし）
聴講対象講座	共通講座及び各専門学科講座 ただし、教室の収容能力を超える場合やグループ学習等聴講になじまない講座 （講座日程表の講座ごとに聴講の可否を表示）は対象外

受講料 (資料代等の実費)	いなみ野学園の学生・卒業生	1 講座あたり 1,300円
	いなみ野学園の学生・卒業生以外の者	1 講座あたり 1,500円
聴講生数	延べ 80 人 収入額 133,800 円	

イ 阪神シニアカレッジ

大学講座の一部を公開し、カレッジライフの楽しさを体験していただき、学生募集時に募集要項を送付するなど学生の確保につなげました。

聴講生制度 の対象者	学習意欲のある方（年齢制限、居住制限なし）	
聴講対象講座	共通講座及び各専門学科講座 ただし、教室の収容能力を超える場合やグループ学習等聴講になじまない講座 (講座日程表の講座ごとに聴講の可否を表示) は対象外	
聴講料 (資料代等の実費)	阪神シニアカレッジの学生・卒業生	1 講座あたり 1,300円
	阪神シニアカレッジの学生・卒業生以外の者	1 講座あたり 1,500円
聴講生数	延べ 595 名 収入額 869,500 円	

⑤ ラジオ講座番組（ひょうごラジオカレッジ）の提供

著名な講師陣による質の高いラジオ講座を運営し、幅広く県民に生涯学習の機会を提供しました。

放送局：ラジオ関西 558 キロヘルツ

放送回数：52 回

(3) 生涯学習関係機関職員研修の実施

地域における学習拠点・活動拠点である公民館等の生涯学習関係機関の職員等を対象とする体系的な研修の機会を提供し、広報をテーマとしたスキルを養成する研修等により、関係職員等の資質向上を図りました。

① 新任社会教育関係職員等研修（協会本部）

新任社会教育関係職員として求められる社会教育に関する基礎的な知識や技能を習得するとともに、市町の枠を超えた人的ネットワークの構築を図るための研修を実施しました。

開催日：令和 6 年 9 月 5 日（木）

場 所：いなみ野学園（大教室）

参加者数：5 名

② 社会教育関係職員等スキルアップ研修（協会本部）

地域課題をテーマにした住民同士の話し合いの場をイキイキと活性化させるために、社会教育担当者として重要なスキルである会議のファシリテーションの基本の習得を図るための研修を実施しました。

開催日：令和 6 年 7 月 25 日（木）、8 月 22 日（木）

場 所：いなみ野学園（中教室）

参加者延数：15 名

③ 社会教育・生涯学習主管課長及び社会教育施設長等研修（協会本部）

社会教育主管課長や公民館長を対象に、国・県の施策等社会教育・生涯学習の動向を学ぶとともに研究協議を行い、管理職の立場から事業の計画・運営能力を図るための研修を実施しました。

開催日：令和6年7月31日（水）

場 所：兵庫県いなみ野学園（中教室）

参加者数：11名

2 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流

生涯学習や地域づくり活動に対する多彩な県民ニーズに応えるため、多様な生涯学習関係機関、活動団体等とのネットワーク化や連携を進めました。

(1) 大学等学校教育機関との連携

① 兵庫大学、兵庫教育大学等との連携（協会本部、いなみ野）

兵庫大学・兵庫大学短期大学部、兵庫教育大学等との連携により、生涯学習講座の開設、学校施設の相互利用等を実施しました。

・兵庫大学・兵庫大学短期大学部との連携

主な内容	・兵庫大学エクステンションカレッジにおいて、いなみ野学園研究生による講義を実施（いなみ野） ・講師派遣等本学園講座への協力（いなみ野） ・兵庫大学の生涯学習プログラム（エクステンションカレッジ）説明資料の配布（いなみ野） ・兵庫大学看護学部学生臨地実習の協力（いなみ野） ・ポスター、パンフレット等の掲示（いなみ野）
------	--

・兵庫教育大学との連携

開催日	令和7年1月14日（火）
対象者	いなみ野学園2年生及び一般
参加者数	196名
開催場所	いなみ野学園 大講堂
内 容	・講 演 演題：比較優位と国際貿易 講師：兵庫教育大学大学院 准教授 渡邊 正

② 公益財団法人兵庫県青少年本部山の学校との連携（協会本部）

山の学校生徒による施設内の倒伐木のほか、交流事業に取り組みました。

(2) 公民館等市町関係機関との連携（協会本部）

公民館が主催する生涯学習講座等の講師の紹介、生涯学習推進アドバイザーやいなみ野学園研究生の派遣などにより、市町の生涯学習事業を支援しました。

・生涯学習推進アドバイザーの派遣 18件（再掲）

(3) 博物館等社会教育機関との連携（協会本部、いなみ野、阪神）

県立人と自然の博物館、県立美術館、県立歴史博物館、兵庫陶芸美術館及び県立考古博物館との連携により、高齢者大学への講師派遣、各施設の実施事業への積極的な参加等を実施しました。

(4) 高齢者大学等関係組織との連携

① 同窓研修会との連携（いなみ野）

同窓研修会を高齢者大学卒業生の生涯学習機関と位置づけ、講師としての研究生等の紹介を通じて研修活動の充実に協力しました。

② ラジオカレッジ友の会（放送大）

高齢者放送大学の「ラジカレ応援団」ともいえる友の会の活性化を図るため、友の会の組織率向上や広報誌発行の継続、運営などに関する課題を代表者会議の中で検討しました。また、地方スクーリングの機会を通じて、各友の会の会員と職員との意見交換会の実施を働きかけるなど、支援協力を依頼しました。

③ 阪神シニアカレッジ同窓会との連携（阪神）

同窓会の自主的な活動を支援するほか、同窓会への加入促進・カレッジ学生募集に関する相互協力や、同窓会の自主事業「マイスター講座」で講演する講師の紹介など、相互に連携しながら事業を推進しました。

(5) 広域ネットワーク組織との連携

兵庫県公民館連合会等の県域ネットワーク組織との連携を強化するとともに全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会等の全国ネットワーク組織や関西圏シニア大学校等の県域を越えたネットワーク組織との連携を強化しました。

① 兵庫県公民館連合会との連携（協会本部）

兵庫県公民館連合会と共催で、第 67 回兵庫県公民館大会を開催するとともに、社会教育関係職員等研修を実施し、兵庫県公民館連合会との連携を強化しました。

○第 67 回兵庫県公民館大会

- ・開催日：令和 7 年 1 月 31 日（金）
- ・場 所：兵庫県いなみ野学園 大講堂
- ・参加者：130 名
- ・内 容：午前：優良職員表彰、文部科学省施策説明
午後：基調講演（講師：牧野 篤 東京大学大学院教育学研究科教授）

○社会教育関係職員等研修（年 4 回）（再掲）

- ・新任職員対象の研修（9 月 5 日）、課長・施設長対象の研修（7 月 31 日）とスキルアップ研修（7 月 25 日、8 月 22 日）を実施し、社会教育・生涯学習の人材育成に取り組みました。

② 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会との連携（協会本部）

高齢者の生きがいづくり・健康づくりを推進し、地域の支え手となる高齢者を育む活動に取り組む全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会の会員として会議等に参加し、推進機構相互の情報交換や事業推進の協議を行いました。

○総会（年 2 回）

- ・開催日：令和 6 年 7 月 1 日（月）、場 所：日本青年館ホテル
- ・開催日：令和 7 年 2 月 27 日（木）、場 所：日本青年館ホテル

○近畿ブロック会議（年 1 回）

- ・開催日：令和 7 年 1 月 20 日（木）（担当：兵庫県）
- ・場 所：ザ・マーカス・スクエア神戸

③ 関西圏シニア大学校交流事業（協会本部、いなみ野）

関西圏の高齢者大学の運営者・学生・卒業生等に呼びかけ、互いに知識を深め、交流の輪を広げることを目的として実施している当該事業が徳島県の主催で開催され、関係者が参加しました。

- ・開催時期：令和7年3月7日（金）13：00～15：00
- ・会場：オンライン
- ・内容：高齢者大学校関係者がつどい活動紹介、協議・意見交換
- ・参集人員：13人

④ 県内文化施設との連携（あいカード）（いなみ野、阪神、放送大）

県内の美術館、博物館等の文化施設における県高齢者大学等学生を対象とする割引利用制度（あいカードの提示による割引）により、学生の学習ニーズに対応するとともに、文化施設の利用促進を図りました。

(6) NPO、社会福祉協議会等地域活動団体との連携（いなみ野、阪神）

ボランティア活動の場の提供、実践体験講座の支援等に取り組むボランティアセンターを運営する市町社会福祉協議会、NPOを育成する中間支援団体等との連携を進めていきました。

(7) 学園の魅力を活かした地域住民との交流（いなみ野）

学園の魅力ある資源を活かした地域開放型講座を行いました。

- ・「わくわく講座」の実施（再掲）
- ・「親子陶芸教室」の実施（再掲）

3 地域社会を支える高齢者の学びの支援

(1) 高齢者大学事業の充実

- ・幅広い教養の涵養やクラブ活動を通じた仲間づくりなど、引き続き高齢者の生きがいを支援するとともに、学習成果を地域社会で生かす取組みを強化するなど、高齢者大学事業の充実を図りました。
- ・ICTを活用し、いなみ野学園では、欠席者や復習用のための録画配信を第1学年及び第2学年において実施するとともに、モニター評価等を踏まえて、講座内容の一層の充実に取り組みました。

① いなみ野学園

ア いなみ野学園大学講座

令和3年4月から入学資格を見直したことにより再入学生が増えていることにも配慮しながら、講義内容や実技実習の充実を図るとともに、陶芸に関する一定の技能を持っておられる方を対象にした陶芸学科専修コースの魅力向上にも努めたところです。さらに、新型コロナやインフルエンザなどの感染症拡大期であっても学びの継続を確保するため、ICTの活用にも積極的に取り組むなど、時代に対応した高齢者の学びの場づくりを進めてきました。

(令和6年5月1日現在)

学 科	園芸	健康づくり	文化	陶芸	計	定員
1年	49名	69名	73名	16名	207名	340名
2年	59名	72名	72名	13名	216名	340名
3年	41名	41名	80名	23名	185名	340名
4年	42名	42名	67名	13名	164名	340名
計	191名	224名	292名	65名	772名	1,360名

【参考】令和7年度入学者

1年	55名	72名	92名	23名	242名	340名
----	-----	-----	-----	-----	------	------

※ 陶芸学科専修コース入学者（上記表の外数）

令和4年度33名、令和5年度34名、令和6年度21名、令和7年度26名

イ いなみ野学園大学院講座

高齢者大学講座等で学んできた知識や技能を掘り下げ、個人や地域の力を再発見することにより、地域での活動をはじめ、地域づくりに役立つさまざまな活動の手法を学びました。

(令和6年5月1日現在)

学科	地域づくり研究科				計	定員
1年	41名				41名	50名
コース	歴史・文化	健康・福祉	環境・地域	景観園芸	※1年2学期より コース分け	
2年	30名	8名	9名	5名	52名	50名
計	—				93名	

【参考】令和7年度入学者

1年	43名				43名	50名
----	-----	--	--	--	-----	-----

ウ 研究生制度

高齢者大学の卒業生を活用した生涯学習指導者の養成を図るため、いなみ野学園大学院講座修了者を対象に、生涯学習指導者としての研究及び実践活動を行う研究生制度を運営しました。

令和6年度新規認定者数：15名 現認定者数：75名

兵庫大学エクステンションカレッジや公民館等での講座において講話等活躍

エ 学園運営等サポーター

高齢者大学の講座運営等を支援する高齢者大学等運営サポーターを募集、登録し、高齢者大学卒業生等の学習成果を活かしていくとともに、高齢者大学等の活性化を図りました。

〔学園運営サポーター〕

種 別	内 容	活動実績
(講座等)運営サポーター (5名)	大学院や大学の講座における円滑な講座運営のための講座補助業務〔採用対象〕研究生	延べ 142日
地域活動支援センター運営サポーター (4名)	学生等による地域活動を企画し、その実践を支援〔採用対象〕研究生	延べ 11日
学園広報サポーター (8名)	CATV 番組や広報ビデオ、名刺の制作 〔採用対象〕研究生	延べ 100日
みどりのサポーター (30名)	「いなみ野ガーデニングの日」に学園敷地内の植栽管理活動の実施 〔採用対象〕いなみ野学園卒業生	延べ 4日

② 阪神シニアカレッジ

ア 阪神シニアカレッジ大学講座

高齢者が生涯学習を通して教養をより高めるとともに、「生涯現役」として創造的に生きるための多彩なプログラムを提供しました。

(令和6年5月1日現在)

学年	園芸	健康	国際理解	計	定員
1年	42名	61名	59名	162名	150名
2年	37名	54名	59名	150名	150名
3年	25名	51名	54名	130名	150名
4年	31名	44名	56名	131名	150名
計	135名	210名	228名	573名	600名

【参考】令和7年度入学者

1年	28名	60名	70名	158名	150名
----	-----	-----	-----	------	------

イ 阪神ひと・まち創造講座

地域社会等での人間関係・コミュニケーションを改めて学び、あわせて阪神地域の歴史・文化・産業・自然などの魅力や課題を再認識することで、地域への愛着をもったコミュニティ活動等への意欲の醸成とコミュニティの活性化をめざしました。

〔阪神ひと・まち創造講座(2年制)〕(令和6年5月1日現在)

学年	1年	2年	計
在籍者数	30名	26名	56名

【参考】令和7年度入学者 1年 31名 (各学年定員30名)

(2) ひょうごラジオカレッジ事業の実施

ア ひょうごラジオカレッジ（高齢者放送大学）

著名な講師陣による質の高いラジオ講座を運営し、幅広く県民に生涯学習の機会を提供するとともに、中央・地方スクーリング等を通じた学友との交流の場の提供など、ラジオカレッジの魅力を積極的に発信し、受講生の拡大を図りました。

さらに、「仕事をしながら学べる」「自宅に居ながら学べる」特長を活かし、多世代が興味・関心を持つ経済や健康などの分野を積極的に取り入れ、令和6年度は特に阪神・淡路大震災30年や大阪関西万博に関連した講座を行いました。

区 分	本科生	聴講生	生涯聴講生	合計
在籍者数	171 名	— 名	1,192 名	1,363 名
定 員	500 名	定員なし		—

【参考】令和7年度（令和7年5月7日現在）

在籍者数	122 名	— 名	1,049 名	1,171 名
------	-------	-----	---------	---------

イ ラジオカレッジサポーター

テキスト等の編集や発送に関すること、行事開催に関することなど、ラジオカレッジ運営を支援する「ラジオカレッジサポーター」を募集・登録し、各種事業にスタッフとして参加していただきました。

- ・対 象 者 ラジオカレッジ学生
- ・登録者数 20 名
- ・活動日数 年間 17 回 延べ 32 日

(3) 地域づくり活動の推進と支援

ア いなみ野学園地域活動支援センター

卒業生等へのボランティア情報提供やボランティアグループの活動等を支援する「地域活動支援センター」を運営し、県高齢者大学卒業生等が行う地域づくり活動を促進しました。

また、卒業生等によるボランティアグループが、福祉施設での演芸披露やふれあい喫茶の運営など、様々な地域活動を展開するとともに、大学院講座を修了した研究生は、特任講師として地域の生涯学習講座、公民館等で講演を行いました。

イ 阪神シニアカレッジ地域活動支援センター

卒業生等へのボランティア情報提供やボランティア団体の創設・運営等を支援する「地域活動支援センター」を運営し、県高齢者大学卒業生等が行う地域づくり活動を促進しました。

- ・主な機能 グループ登録やマッチング等の地域での実践活動のきっかけづくり
地域活動の企画・運営に関する相談、広報紙の発行など活動成果の情報発信、登録グループの行う地域活動に対する経費支援

(4) 高齢者の交流・健康づくり活動の広域的展開・場の提供

ツウゲットボール等のシニアニュースポーツの普及、全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣を行い、高齢者の交流・健康づくり活動を広域的に展開しました。

① シニアニュースポーツ（協会本部）

シニアニュースポーツの普及促進を図り、当協会が開発したツウゲットボールの

全県大会を開催しました。

○第21回ツグゲットボール全県大会

- ・日 時 令和6年10月28日(月)
- ・開催場所：但馬ドーム(豊岡市)
- ・参加者 140名(28チーム)

② 全国健康福祉祭(ねんりんピック)(協会本部)

全国の高齢者がスポーツ等を通じて交流を深める全国健康福祉祭(ねんりんピック)に兵庫県選手団を派遣しました。

○ねんりんピックはばたけ鳥取2024

- ・会 期 令和6年10月19日(土)～10月22日(火) 選手団134名

4 経営の健全性・透明性の確保

いなみ野学園入学募集活動の推進及び生きがい創造協会寄附の募集を推進するとともに、陶芸の村利用料の値上げと事業見直しを実施しました。

(1) 安定した収入の確保

① 高齢者大学入学者の確保

応募者数が減少傾向にあることから、魅力的なカリキュラムの設定など、高齢者大学の魅力向上を図り、入学者定員の確保に努めました。

特に、いなみ野学園では運営状況について情報共有し、意見交換を通じて学園関係者が連携・協力して魅力と活力ある学園づくりを進めていくため、「いなみ野学園運営推進会議」を開催するとともに、ICTの活用も図りながら講座内容の一層の充実に取り組みました。

また、入学者募集の際に効果的な口コミによる周知を図るため、学生・卒業生等へ高齢者大学に関する定期的な情報提供を行うほか、PR効果の高いホームページ、マスメディアの活用など、効果的なPRに努め、認知度の向上に努めました。

② 適正な受益者負担の徴収

協会事業に係る経費について、適正な受益者負担を求めることとし、いなみ野学園では、原料・資材の価格高騰を踏まえ、講座充実費や実習費などの学生納付金の改正を行いました。なお、阪神シニアカレッジでは、令和7年度入学生から受講料及び実習費(園芸学科)の改定を行いました。

③ 寄付募集の推進

生きがい創造協会の各事業に充当する寄附の募集を行いました。

実績：兵庫県生きがい創造協会寄附

(単位：円)

使 途		寄付者数	寄附額
1	地域・世代間交流事業	0	0
2	いなみ野学園	113	1,026,411
3	ひょうごラジオカレッジ	3	21,000
4	阪神シニアカレッジ	1	5,000,000
5	協会が実施する事業	5	31,000
計		122	6,078,411

④ オープンキャンパスの開催（いなみ野、阪神）

講座やクラブ見学等を入学希望者や地域住民に幅広く開放し、高齢者大学での学びや活動への理解を深めてもらう機会としました。

いなみ野学園

開催日	令和6年11月26日、11月29日、12月4日
対象者	一般（入園希望者等）
参加者数	55名
場所	地域活動支援センター 外
内容	学園概要、講座見学、学園内見学、クラブ活動見学会

阪神シニアカレッジ

（オープンキャンパス（夏））

開催日	令和6年8月7日
対象者	一般
参加者数	200名
場所	阪神シニアカレッジ401教室 ほか
内容	カレッジ紹介、公開講座「学長文学歴史サロン」、屋上農園見学、クラブ活動見学

（オープンキャンパス（冬））

開催日	令和6年12月8日
対象者	一般、入学希望者
参加者数	120名
場所	阪神シニアカレッジ401教室 ほか
内容	カレッジ紹介、動画による講義紹介、館内自由見学、入学相談

⑤ 自主事業の収益の確保

ア 高齢者手づくりの店（協会本部）

高齢者が、趣味、創作活動として製作した手工芸品や民芸品、育成した野菜・花などを販売する場として、民間事業者に委託して運営しました。

- ・出品物 野菜、花き、果物、苗、菓子、手芸品など
- ・施設の概要 木造平屋建寄棟造 117.9 m²

イ 高齢者園芸センター（協会本部）

高齢者が土と親しみ作物を育てることを通じて健康を増進するとともに、地域や世代間の心のふれあいと交流を図る場として運営しました。

（7）指導者付貸農園（ファミリーファーム）の運営

- ・区画数 448区画(16.5 m² ; 395区画、30 m² ; 14区画、32 m² ; 39区画)
- ・利用料 16.5 m² 7,200円／年
30 m²及び32 m² 18,000円／年

ファミリーファーム総区画数		利用区画数
①16.5 m ² /区画	395 区画	213 区画
②30.0 m ² /区画	14 区画	9 区画
③32.0 m ² /区画	39 区画	35 区画

(イ) 施設の概要

- ・ファミリーファーム 11,620 m² ・農 園 4,415 m²
- ・果樹園 6,330 m² ・管理棟 176 m²

ウ 高齢者陶芸の村（協会本部）

高齢者が作陶活動を通じて、仲間と共に生きがい創造する場として、会員の自主運営により実施しました。

(ア) 会員の入村・利用料等

- ・会 員 60歳以上の者 ・会員数 86人（令和7年3月末現在）
- ・入村料 12,000円 ・利用料 月額6,000円（3月分前納）
- ・材料費・焼成費 内容に応じて設定
- ・作陶日：週2回（月・木）

指導員が作陶焼成等の指導にあたります。

(イ) 地域への開放

地域の人々に施設を開放し、広く陶芸の普及と世代間交流を図りました。

- ・利用料 一人1日1,500円 ・利用者 延べ1,188人（令和7年3月末現在）
- ・材料費・焼成費 内容に応じて設定
- ・作陶日：毎週水曜日
- ・指導員が作陶焼成等の指導にあたります。

(ウ) 施設の概要

- ・敷地 2,820 m²、建物 720.78 m²
- ・作業棟3棟 451.11 m²、窯棟3棟 120.43 m²、乾燥棟 72 m²、その他 78.24 m²

(2) 職員の適正配置等による運営

長期的視点で事業を計画的、継続的に執行することができるよう職員の適正配置等による運営を行うとともに、高齢者大学のクラス運営等のルーティン業務を運営サポーター等による自立的運営に移行するなど、高齢者が高齢者を支援する体制で運営を行いました。

(3) 協会事業の透明性確保・広報の充実

① 協会事業の見える化

ア 協会ホームページ

組織・収支状況・経営方針・事業内容・イベント情報などを定期的に発信しました。

イ ニュースレター「生きがい通信」

高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報などをニュースレターとしてホー

ムページに掲載することにより、地域社会への貢献についての県民の意識啓発を図るとともに協会事業の内容を積極的に発信しました。

- ・発信回数 年3回（令和6年8月、令和7年1月、4月）

ウ SNSを活用した情報発信

協会公式Instagramで、各種協会事業について時宜を得た情報を発信しました。

② マスメディアとの連携

ラジオや新聞等のマスメディアの協力を得ながら、当協会及び協会事業の知名度向上を図りました。

ア 記者発表等マスメディアの積極的活用の推進

本庁及び県民局の定例記者会見や月間広報計画などの広報媒体を活用し、各高齢者大学の入学生募集をはじめ各種事業のPR活動を積極的に推進しました。

- ・高齢者大学入学募集、放送大学学生募集、オープンキャンパス、短期集中講座、聴講講座、兵庫県公民館大会など

③ いなみ野学園情報番組の制作・発信

地域ケーブルテレビ局「BAN-BAN テレビ」の協力を得て、大学院講座学生等の自主制作による動画を放映している番組「播磨まちかどニュース with いなみ野学園」への応援を行うとともに、動画の内容や学園行事等のニュースを紙面で紹介する「瓦版」を発行し、学園の活動や魅力について情報発信に努めました。

- ・動画放送番組数：年24本（月2回）
- ・瓦版発行回数：年12回（月1回）

② ホームページの運営（協会本部、いなみ野、阪神、放送大）

可能な限りの情報公開を目指すとともに、わかりやすく、親しみやすい、身近に感じてもらえる施設像の情報発信に努めました。

(4) 経営改善の推進

経営改善を推進するため、経営改善推進本部を設置し、事務経費の節減や収入確保対策に取り組みました。

[取組み事例]

- ・いなみ野学園入学募集活動の推進
- ・陶芸の村利用料の値上げ
- ・生きがい創造協会寄附の募集推進